

友だち仲間を読んでみる



『走れ! 校バスケット部』

松崎 洋 // 著 彩雲出版

創立以来、弱小チームのバスケット部が舞台。スポーツものの王道のストーリー展開は、まるで漫画を読んでいるかのようです。絶対続きが読みたくなります!

『うたうとは小さいのちひろいあげ』

村上 しいこ // 著 講談社

中学でのいじめで高校に進学したものの不登校になった綾美、親友だった桃子は高校で友人を作らないと言います。桃子は強引に「うた部」に入部させられます。短歌を通して言葉と心を通い合せていきます。



『鉄のしぶきがはねる』

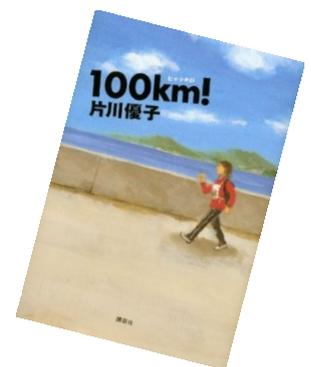
まはら 三桃 // 著 講談社

工業高校が舞台。システムエンジニアを目指す心でしたが、ものづくり研究部の手伝いを頼まれたのをきっかけに、高校生ものづくりコンテストを目指すことになります。ものづくりの楽しさを教えてください。

『100km!』

片川 優子 // 著 講談社

100キロ歩くという大会に一人で参加する羽目になった“みちる”。絶対途中でリタイアするだろうと思っていたけれど、四回目の参加の宗方さんや初参加の男の子にマッサージでサポートするおじさん。いろんな人との出会いが完歩へと導いていきます。



『ドコカ行き難民ボート。』

シモン ストランゲル // 著 枇谷 玲子 // 訳 汐文社

家族旅行でリゾート地に来ているエミーリエは海岸で今にも壊れそうなボートを見つけます。貧困から抜け出すために、ヨーロッパに密航することにしたサミュエルたちはボートで海に出ます。境遇が全く違う二人が出会い、エミーリエには何ができるのでしょうか。